

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 12 日

事務事業名		道路改良事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	050301000369
							単独/補助	単独	所属課	060101
政策体系		政策体系上の位置付け							建設課	
総合計画の施策名		0503 道路網の整備							課長名	
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり							グループ	
施策名		03 道路網の整備							建設グループ	
手段名		01 ①市道の整備							担当者名	
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)	
	01	08	02	03	02	00	道路新設改良事業		→ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>桜川市の総合計画では、道路・交通の整備について目標が掲げられています。市民がマイカーや公共交通を利用して、安全かつ快適に市内を移動することが出来るような道路整備を目指しています。当事業では、幹線市道等の改良計画に基づき測量・設計業務を経て工事を発注します。工事の種類は様々で、新しい道路を整備する道路新設改良工事、現在利用している道路を広げる道路拡幅工事、U字溝の新設や改築する排水整備工事、更に傷んでいる道路をなおす路面舗装工事などです。これら工事の年間発注は、10~20箇所となっています。</p>	<p>地元要望により現地確認のうえ緊急性の高い順に道路拡幅、排水整備、路面舗装など計画し請負により実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備に伴う測量、設計、積算、工事発注 ・工事施工に伴う現場監督、現場対応 ・改良計画に伴う地元説明会

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備に伴う現地測量、設計、積算、工事発注 ・工事施工に伴う現場監督、現場対応 ・改良計画に伴う地元説明会 	改良、排水整備、舗装箇所数	箇所	14.00	10.00	10.00	10.00	10.00
	改良、排水整備、舗装延長	m	2,024.00	1,288.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・道路 	市内の道路実延長 (供用開始延長)	km	1,502.00	1,503.00	1,503.00	1,504.00	1,504.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・安全快適に利用できる 	改良率	%	34.90	34.90	35.00	35.00	35.10
	舗装率	%	47.70	47.70	47.70	47.80	47.90
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	30年度 (実績)	11,000	01年度 (実績)	4,500	02年度 (計画)	15,750	期間限定総投入量	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	135,588	78,439	75,250	0	0	0		
			事業費計 (A)	千円	146,588	82,939	91,000	0	0	0		
	正規職員従事人数	人	8.00人	8.00人	7.00人							

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)				02年度事業費 予算 (千円)			
	13 委託料	13,915			13 委託料	9,500		
	15 工事請負費	69,024			15 工事請負費	81,500		
			合計	82,939		合計	91,000	

事務事業名	道路改良事業	事務事業No.	50301000369	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
・開始時期は不明であるが、車の普及等により地区から道路改良の陳情書が提出されるようになり事業が開始された。しかし、改良率及び舗装率は年々向上しているが、市民の満足度は依然として低い状況である。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
・早期整備に対する要望が多い。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 一般の生活道路には狭路で危険箇所が多い路線があることから、この事業を行うことによって整備・改善がなされ市民生活の利便性、さらには、安全確保が向上するため政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の交通機能等の役割を果たす重要なインフラ整備であり、妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 道路改良を毎年度実施し、改良率を向上させている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 安全性、快適性の向上を図ることが難しくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 道路整備の類似事業はない。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 職員で可能な限り測量及び設計積算を実施することにより、委託費を削減する余地がある。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 整備計画や要望に基づき、地区のバランス等を考慮し整備している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	道路整備に伴う地元説明会、測量、設計、積算、工事発注を計画的に実施し、道路改良率が向上した。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加		○													
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
	○																									
関係機関が実施する研修会に積極的に参加したり、業務中に測量や設計積算を積極的に行い、職員のスキルアップを図る。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>